



梅田中だより

<第9号>

7月

1学期が終了します。

明日で1学期が終了します。昨年度は、コロナウィルス感染症予防のため、多くの行事が中止、延期となっておりましたが、今年は、徐々に行事が実施できるようになりました。1学期に行った様々な学校行事、生徒会行事等において、生徒一人一人が常に前向きに一生懸命取り組んでくれました。中でも1年生の高原学校などは、楽しい思い出の一つになったことと思います。また、学習面でも、授業を真剣に受け、中間テスト、期末テストにも計画的に取り組み、しっかり学力を身に付けてくれたと思います。

いよいよ明日から35日間の夏休みに入ります。せっかくの休みですから、自分自身が大きく成長できる過ごし方をしてください。時間に縛られないため、自分でルールを作りましょう。特に3年生にとっては、自分の進路決定に向けての最も大切な期間でもあります。得意教科の学力アップや不得意教科の補強など、計画的に取り組んでください。また、1、2年生にとっても、今までの学習をしっかり復習したり、部活動での技術の上達を図る大事な機会となります。規則正しい生活を心がけ、有意義な夏休みを過ごしてもらいたいと思います。

そのためにまず大切なことは、①具体的な目標の設定と②生活リズムの確立です。この夏休みは、これをするという具体的な目標を立て、生活リズムを作り「早寝・早起き・朝ご飯」を実行してください。ご家庭でのご指導、ご協力もよろしくお願いいたします。何か心配なことがありましたら、遠慮なく、担任や学校にご相談ください。

1年生の榛名高原学校が、終了しました。

7月7日(水)に、1年生の子供たちが、日帰りでの榛名高原学校を体験しました。今年度も、コロナウィルス感染症予防のため、日帰りでの実施となりました。当日は、梅雨の時期には珍しく、晴天に恵まれました。これも1年生の子供たちの、日頃の行いの良さのおかげかと思えます。午前、午後ともに榛名湖でないと体験することができないカッター訓練を実施しました。

日焼けして帰校した子供たちの表情からは、疲れてはいるものの、楽しく

充実した時間であったことがよくわかります。

クラス全員で協力をして動かすカッター訓練から、全員が一致団結して一つになることの意義を学べたことと思います。

ご家庭でも、お子様から高原学校の思い出をお聞きいただき、話題にさせていただけたら幸いです。

1年生の子供たちには、今回の経験を、今後の学校生活に活かしてほしいと思います。



榛名湖畔のカッターの前で記念撮影



榛名湖でのカッター実習

1年生の梅田地区体験学習が、終了しました。



梅田湖ダム

7月8日（木）には、群馬大学大学院理工学府と社会福祉協議会の方々にご協力いただき、桐生市内で運行している電動低速バスの「MAYU」を3台お借りして、ふるさと梅田の自然や環境を見つめ直す機会を設定しました。

今回は、桐生土木事務所ダム管理係にもお願いし、梅田湖ダムを見学しました。ダムの機能を理解するとともに、自分たちが住む、この梅田地区に存在する災害リスクを学び、災害時に必要な行動、地域での活動について理解を深めるのが目的です。通常では入れないダムの内部を見学させていただきました。ダムの内部は、気温が10℃しかなく、とてもひんやりしていました。説明からダムの果たす役割もよく理解できました。



ダムの内部見学の様子



3台のMAYUに班別に乗車しました。最後にMAYUの前で記念撮影をしました

【金井教授の防災講演会】

7月8日（木）の午後は、群馬大学大学院理工学府の金井教授から防災について、直接、ご指導をいただきました。梅田地区はハザードマップで確認すると、大雨が降った際には土砂災害の恐れが考えられる地域でもあります。子供たちにも、今回の学習を通して防災について



防災についてのお話をうかがいました



熱心に話を聞く子供たち

の理解を深めてもらい、万が一の時には、確実に自分の命を守る行動がとれる人に育ってほしいと願い、この講演会を実施いたしました。ぜひ、ご家庭でも、お子様との会話を通して、この2日間の体験を共有していただき、今後の子供たちの成長に、役立てていただければと思います。よろしくお願いたします。



梅田中学校 学校通信 「梅田中だより」 <文責 阿部 誠二>

TEL 32-1018, FAX 32-1039

URL <http://www.kiryu-umeda-j.ed.jp/>

上のQRコード又はURLから梅田中学校のWebページをご覧ください。

※ ホームページの更新を随時しております。写真もカラーで掲載しておりますのでご覧ください。